

## 欲しがる心

いま、世の中には物があふれ、洋服・食べ物などあらゆる物が豊富にそろっています。デパートやスーパーに行けば、大量の製品がきれいに並べられています。手を伸ばせば最新の商品が手に入り、流行の刺激が世の中にあふれています。

私たちには、新しいもの・素敵なものを欲しがる気持ちがあります。常に何か満たされない気持ちがあり、他と比較をして足りない物を欲しがってしまう傾向があります。

「偷盜ちゆうとう」とは「人の物を盗むこと」です。それは何も、物を盗ることだけではありません。たとえば、約束の時間に遅れて相手を待たせるのも、その人の時間を盗んでいることになり、混んでいる電車の中で席を譲らずに座っていることも、席を必要としている人から盗んでいるということになります。また、仕事をさぼっている人も、実は仕事の時間を盗んでいることになります。

## 足たるを知るし

お釈迦様の残された言葉の中に「少欲知足しょうよくちそく」というものがあります。「足たるを知る」欲が少なく、わずかなもので満足することをいいます。足たるということを知り、自分を取り囲む全てのものに感謝して暮らすことができる人が一番豊かな人なのです。足たることを知らない人は、どんなに物があっても満足できない人なのです。

最近、テレビなどで万引き実態が報道されています。その内容は年齢層に関しては子供から高齢者と幅が広く、原因は生活の為ではなく、スリルを求め、自分の怒りや不安のはけ口として行っている場合が多いということです。そのような人は捕まると突然自分の犯した罪の深さに気づき、反省するそうです。

心のすきまを埋めるために物を盗んでしまう。今ある物に満足せず、自分のことだけを考え、他人のことを考えられない結果なのでしょう。決して心のすきまは物では埋まらないのです。

## 大切な約束

私たちは一人では生きていけません。多くの人の力によって支えられて生きているのです。今あるものに満足し、人の気持ちを考え感謝する心があれば、人の物を盗むことなど出来ないはずで

す。そのような心のすきまが出来てしまったら、もう一度自分の心の中をのぞいて見てください。世の中すべての物に感謝し、人の心を思いやることができる、清らかな心が見えてくるはずです。

人の物を盗まないこと、それは今に感謝し、他人のことを尊重しながら生活していく大切な約束なのです。